平成 28 年度　かがわ省エネ節電所の取り組み状況について

平成 28 年度のかがわ省エネ節電所の参加状況は、次のとおりです。

	参加世帯数	参加事業所数
夏	477 世帯	102 事業所
冬	329 世帯	59 事業所

ご登録いただいた内容をもとに、家庭、事業所のそれぞれについて、取り組み状況の集計を行いました。

１．家庭

集計結果より、「冷・暖房は必要な時だけ使用する」「テレビを見ない時は消す」「洗濯物はまとめ洗いをする」は、多くの方が取り組めているが、「緑のカーテンを設置する」「テレビの画面の輝度を下げる」「太陽光発電装置や太陽熱温水器などを設置する」「なるべく 17 時～21 時の時間帯を避けて電気製品を使用する」（冬）は、あまり取り組めていないことが分かります。

～皆さまから寄せられた省エネ・節電のアイディア～

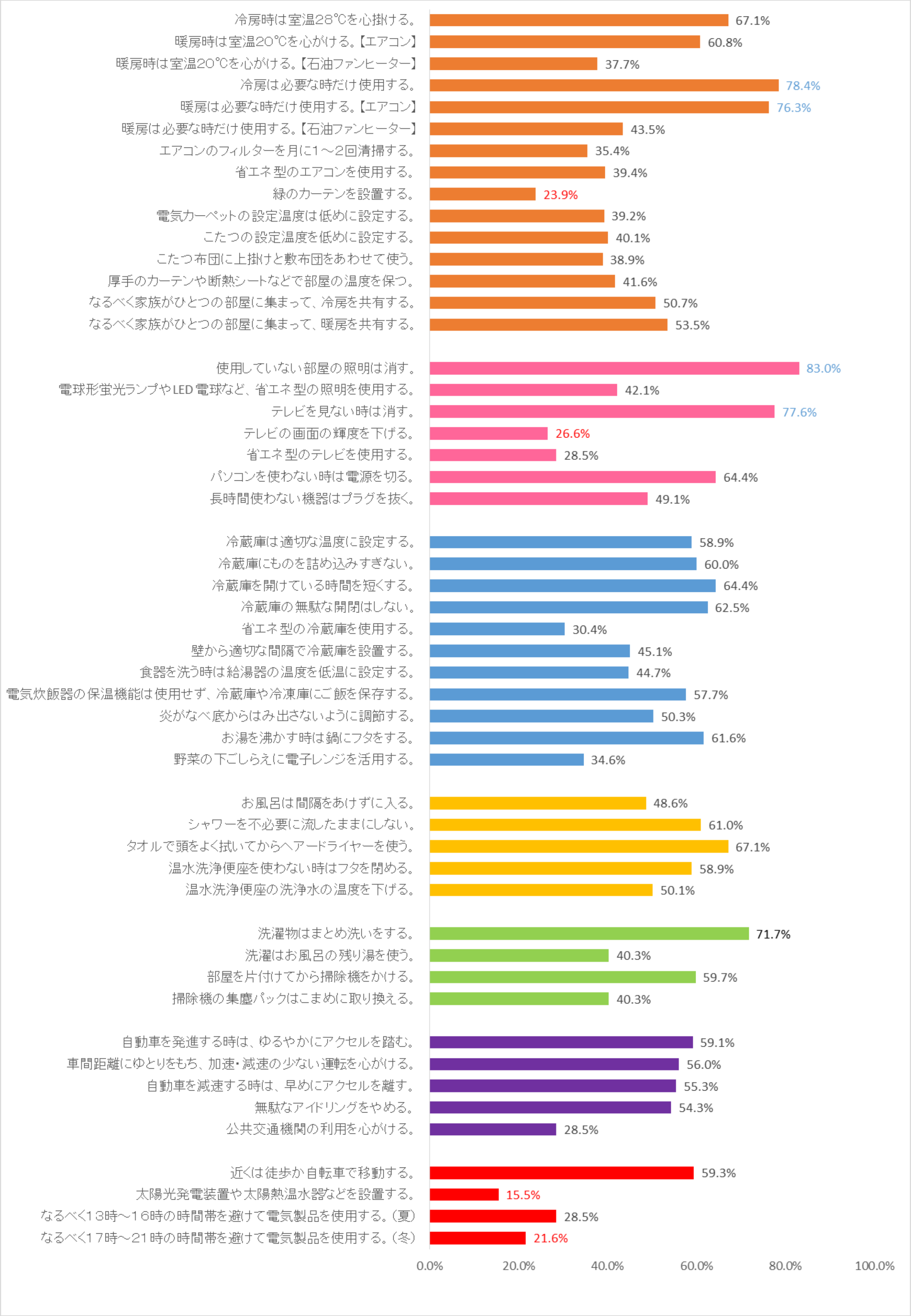
〇冷暖房
・身体を動かしたり、暖かいものを食べたりして体温をあげる。
・各部屋に温度計を置いて室内温度をいつも確認する。

〇キッチン
・冷水を沸かす時はあらかじめ日光で暖めておく。
・食器は汚れをふき取って水につけておき、食器洗い乾燥機を 1 日 1 回使用してまとめ洗いする。

〇水まわり
・電気温水器は使用しない、必要な時にガスで沸かし残り湯は保温ポットに入れて、また必要な時にそれを必要に応じて沸かして利用する。
・掃除・雑巾がけ、植物の水やり、打ち水などは、風呂の残り湯を使う。

〇その他
・複数の店で買い物をする時は、道順に番号を振り、効率良く回れるよう工夫する。
・常時つけておく必要のない家電は、タイマー付きのコンセントを利用し、自動でオフになるようにする。
・センサー付き、太陽光発電の照明を採用する。
・電気の使用料をグラフ化し、節電に役立てる。
・朝早く起きて家事をし、夜間電力で洗濯や携帯の充電をする。

図１　家庭の取り組み状況

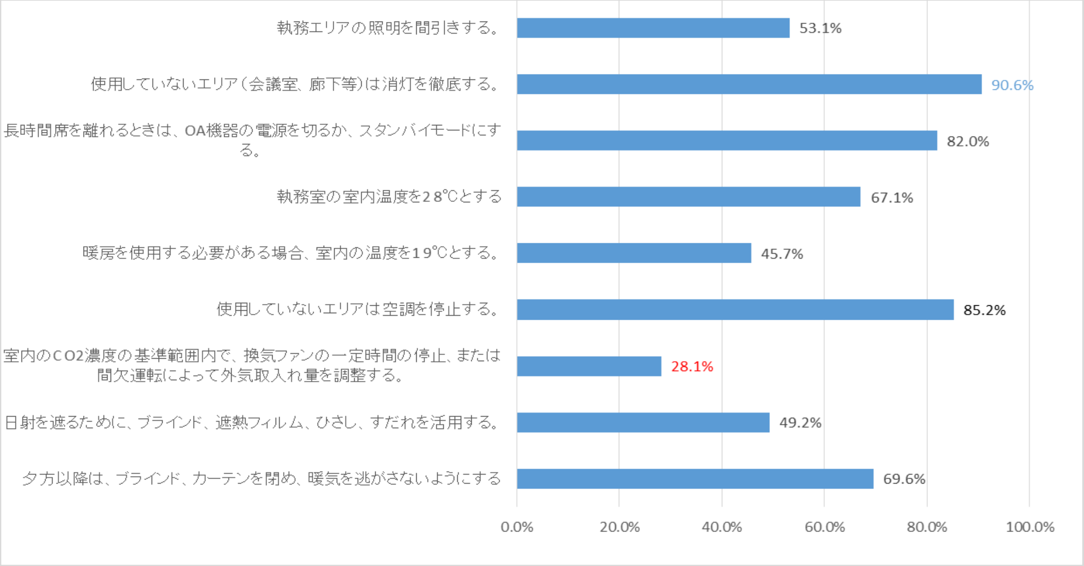


2．事業所

（１）事務所

集計結果より、「使用していないエリア（会議室、廊下等）は消灯を徹底する」は、多くの事業所が取り組めているが、「室内のＣO2 濃度の基準範囲内で、換気ファンの一定時間の停止、または間欠運転によって外気取入れ量を調整する」は、あまり取り組めていないことが分かります。

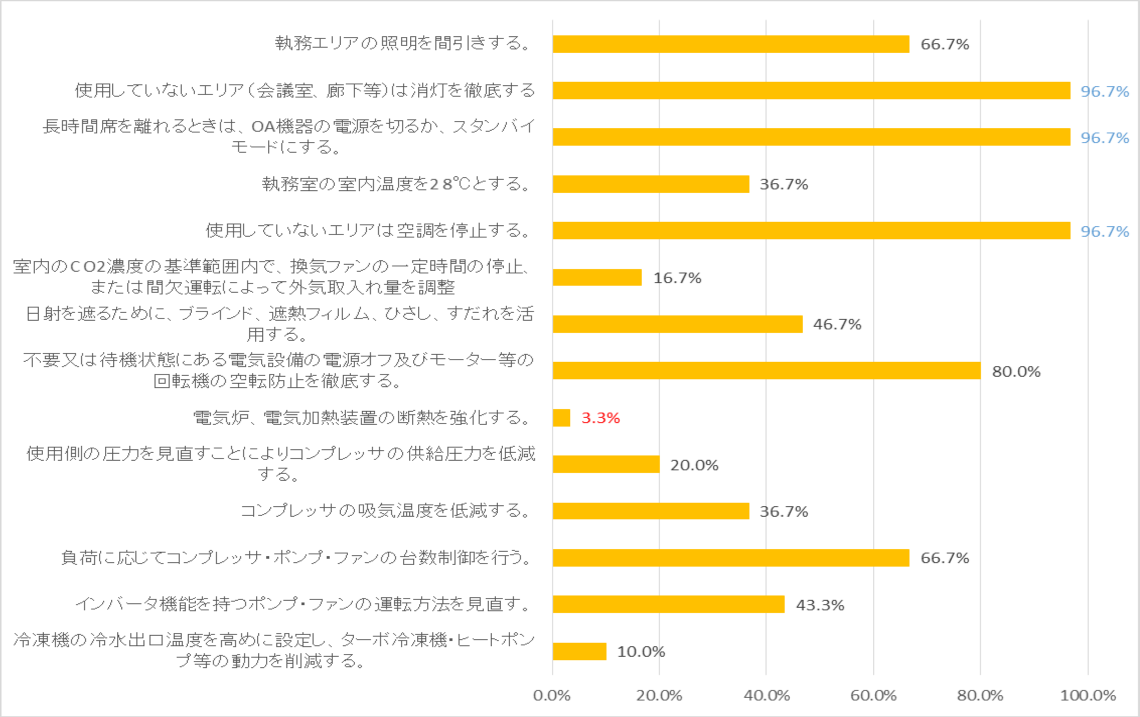
図２　事業所の取り組み状況（事務所）



（２）工場（製造業）

集計結果より、「使用していないエリア（会議室、廊下等）は消灯を徹底する」「長時間席を離れるときは、OA 機器の電源を切るか、スタンバイモードにする」「使用していないエリアは空調を停止する」は、多くの事業所が取り組めているが、「電気炉、電気加熱装置の断熱を強化する」は、あまり取り組めていないことが分かります。

図３　事業所の取り組み状況（工場（製造業））



（３）共通項目

集計結果より、「OA 機器は省エネモードを活用する。」「手洗い等、水の流し放し、水の出しすぎに注意する。」は、多くの事業所が取り組めているが、「月１回以上のエコ通勤デーの実施」は、あまり取り組めていないことが分かります。

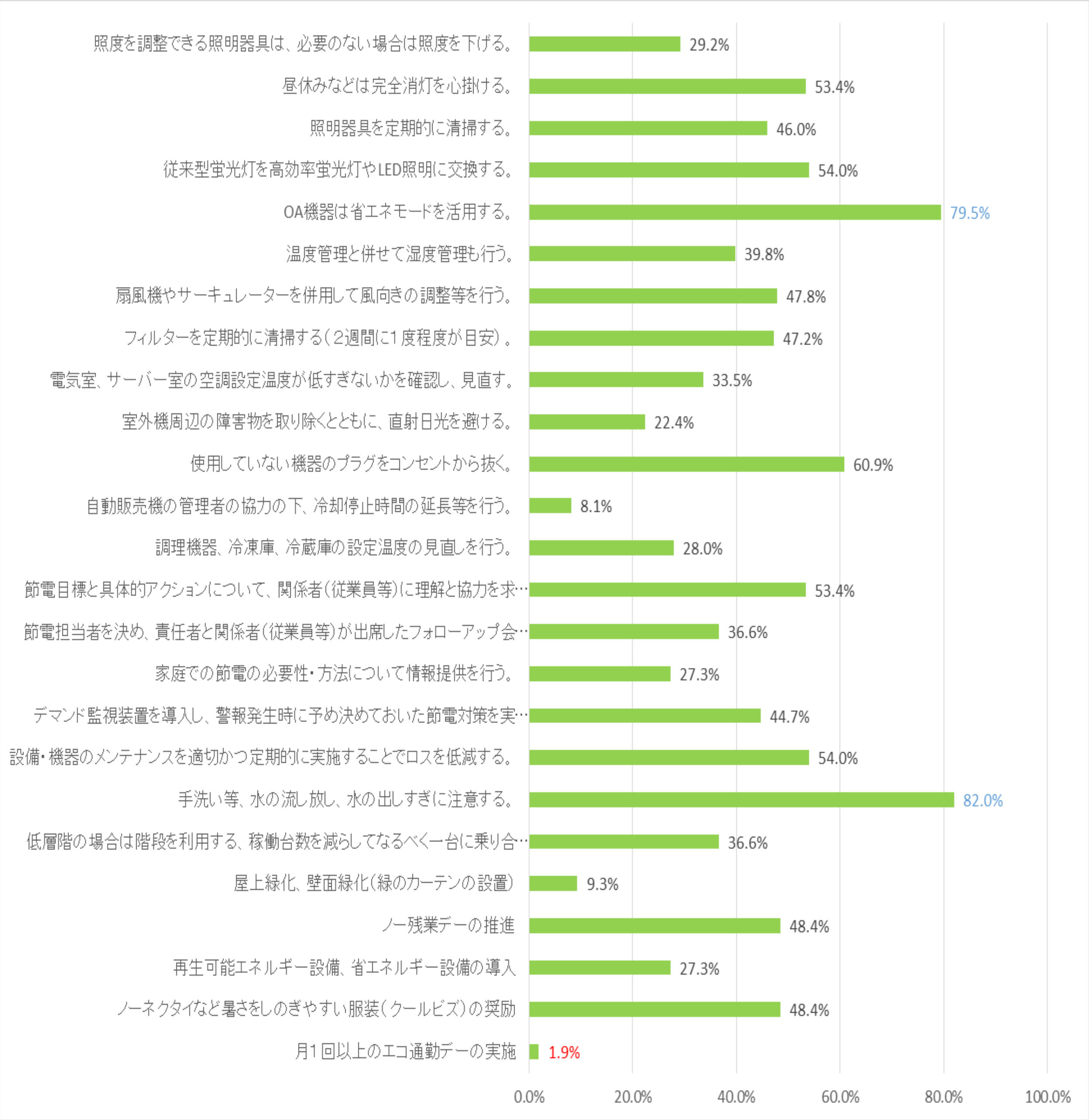



図４　事業所の取り組み状況（共通項目）